

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-511635(P2005-511635A)

【公表日】平成17年4月28日(2005.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2005-017

【出願番号】特願2003-545770(P2003-545770)

【国際特許分類】

A 0 1 N	37/02	(2006.01)
A 0 1 N	25/02	(2006.01)
C 1 1 D	1/04	(2006.01)
C 1 1 D	1/722	(2006.01)
C 1 1 D	3/04	(2006.01)
C 1 1 D	3/20	(2006.01)
C 1 1 D	3/34	(2006.01)
C 1 1 D	10/02	(2006.01)

【F I】

A 0 1 N	37/02
A 0 1 N	25/02
C 1 1 D	1/04
C 1 1 D	1/722
C 1 1 D	3/04
C 1 1 D	3/20
C 1 1 D	3/34
C 1 1 D	10/02

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月30日(2005.9.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

a) 少なくとも1種の脂肪族短鎖の抗菌的に有効なC₅～C₁₄脂肪酸又はそれらの混合物と；

b) 少なくとも1種の弱C₁～C₄カルボン酸と；

c) 硝酸であるか又は硝酸とリン酸の混合物である強酸と；

を含む消毒及び／又は洗浄組成物。

【請求項2】

前記少なくとも1種の弱カルボン酸が、酢酸、ヒドロキシ酢酸、プロピオン酸、ヒドロキシプロピオン酸、-ケトプロピオン酸、クエン酸、酪酸、吉草酸、コハク酸、酒石酸、リンゴ酸、フマル酸、アジピン酸、ギ酸又はそれらの混合物である請求項1記載の組成物。

【請求項3】

前記少なくとも1種の脂肪族短鎖の抗菌的に有効な脂肪酸がC₆～C₁₀脂肪酸である請求項1記載の組成物。

【請求項4】

前記脂肪族短鎖脂肪酸が、デカン酸、ノナン酸又はそれらの混合物である請求項1記載の組成物。